

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	防災意識日本一のまちづくり事業
事業主体 (連絡先)	下諏訪町
事業区分	(4) 安心・安全な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	924,416 円 (うち支援金 : 693,000 円)

事業内容

町民による防災士組織「防災ネットワークしもすわ」に下記の2事業に対して補助を行った。

ジュニア世代、地域での次世代防災リーダーの育成の場として「地域防災リーダー研修」、「ジュニアサバイバルキャンプ」を実施。防災士資格取得者の研修・活躍の場としても位置付け、防災士のスキルアップを同時に図る。また、災害時にスムーズな避難所運営及び避難者の健康維持ができるよう各避難所へ配布する運営マニュアルを民公協働で作成した。

上記の活動を通じて、地域住民自らが防災組織を運営し、防災活動を推進することで、地域住民の防災に対する更なる意識の向上を図った。

事業効果

- ※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。
- ①「防災ネットワークしもすわ」が主体となり地域の地形や実情に応じた避難所設置運営訓練の実施や「ジュニアサバイバルキャンプ」、「地域防災リーダー研修」を開催することで、参加者の知識・意識の向上が図られ、地域防災力の強化とリーダー育成に繋がった。
 - ②災害時のスムーズな避難所運営及び避難者の健康維持ができるよう、自主防災会や防災ネットワークしもすわなどによる各指定避難所の調査及び研究をするとともに、避難所ごとの運営マニュアルを作成し、地域の防災力、防災意識を向上することができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

「ジュニアサバイバルキャンプ」、「地域防災リーダー研修」については、昨年まで外部講師が主体となって行っていたが、今年度は、「防災ネットワークしもすわ」も講師とともに事業の中心となり運営・指導を行った。令和2年度も同様の形で実施することでノウハウを習得し、令和3年度以降は防災ネットワークしもすわが講師となつて行えるような体制を整えたい。このように、地域の防災リーダーを育成するとともに、地域住民全体の防災知識・意識の底上げを図る。また、完成した避難所運営マニュアルを活用しながら、民公協働で研修や訓練などを実施していく。

- ※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
- 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



(活動写真)

【避難所設置運営訓練の様子】

【目標・ねらい】

- ①住民による主体的な活動の推進。
- ②地域防災力の強化を図る。
- ③防災士及び地域での次世代防災リーダーの育成。

※自己評価【A】

【理由】本事業は、住民による組織運営や訓練実施など、主体的な活動の実施によって目的を達成する。また、ジュニア世代や地域住民への研修・訓練により、防災意識の向上が図られたと考える。